

## 令和7年度第5回 士別市地域公共交通活性化協議会 てん末

日時：令和8(2026)年1月29日

午前10時から午前11時まで

場所：士別市役所 会議室201～203

### 1. 開 会

### 2. 委員変更・出欠の状況について【別紙のとおり】

- 多寄地区自治会連絡協議会から役員改選に伴う変更の申し出があり、古川委員へ変更。

### 3. 挨拶 法邑会長

### 4. 報告事項

#### (1) 令和8年度市内循環線「外回り線」の運行について【2ページ】

- 内容：令和7年8月から実施している減便体制を継続。令和8年度（4月以降）についても、現在と同じ運行時間帯および本数を維持する。
- 結果：内容のとおり承認。

### 5. 協議事項

#### (1) 士別市地域公共交通計画（素案）について【別添のとおり】

##### 【委員からの主な意見・質疑】

- 高校生の通学利便性
    - ・15ページの課題にある「高校生の通学」は市内校だけでなく、JR接続による市外通学も念頭にあるか。
    - ・士別東高校が旧多寄中学校へ移転する方針が報じられたが、多寄駅と学校を結ぶ交通手段などは計画に反映されるのか。
- ⇒市外通学も想定内。東高校移転後はJRや既存バス路線の利用により現状より利便性は高まる見込みだが、ダイヤ調整等は教育委員会と協議していく。

## ●データの表記と表現の適正化

- ・5 ページの乗車数データについて、スクールバス混乗路線の「一般乗客数」が0に近い表記だと誤解を招く。無償利用の生徒数も備考等に記載すべき。
  - ・10 ページのアンケート結果で「空気輸送」「補助金 5,000 万円への疑問」などの否定的な意見が「方向性」として目立っている。肯定的な意見も併記し、表現を工夫してほしい。
  - ・15 ページの運転手不足は、市独自の問題ではなく「全国的」な傾向である旨を明記すべき。
  - ・17 ページの目標3には「積極的な情報発信」という文言を追加すべき。
- ⇒スクール線は別枠表記を検討。アンケートの自由意見は肯定的な内容も含め、事務局で表現を再考する。文言の修正も行う。

## ●利用者視点の反映と新技術

- ・普段乗らない層への「バス体験機会」の創出が必要。
  - ・高齢者が「なぜバスを使わないのか」という実態を深掘りすべき。健康福祉部と連携したアンケートや、国勢調査のデータを分析し、市民目線で事業を進めてほしい。
- ⇒乗り方教室や広報での特集、健康福祉部との連携による高齢者への直接的な聞き取りなどを検討していく。

### 【審議結果】

- ・今回いただいた意見や修正点を計画に反映することを前提に承認。

## (2) 小中学生バス半額助成事業について【3~4 ページ】

### 【委員からの主な意見・質疑】

## ●継続の要望

- ・通学助成の対象外となっている生徒や、少年団の利用がある。もう1年ほど様子を見てはどうか。
- ⇒既に1年延長して検証したが実態が変わらなかったため、一旦廃止とする。ただし、8年度からは夏休み・冬休み限定の施策や、別のアプローチでの支援を検討したい。

## ●利用実態と予算の行方

- ・「固定化」というが、外回り線などは人数も多く、一概に固定化とは言えないのではないかな。
  - ・廃止によって浮く予算は、どのようにシフトさせるのか。
- ⇒外回り線は一部の少年団による拠点間移動などの利用が主である。予算については、8年度に実施する公共交通利用促進策（無料乗車デーや夏休みなどの長期休暇中の事業等）の中で活用を考えたい。

## ●事業者間の連携

- ・課題解決にはバス・タクシー・行政が三者で連携し、利用者目線で柔軟に対応しなければ計画倒れになる。
- ・以前締結した三者協定の協議がストップしているため、早期に再開し、実務的な検討を進めたい。

## 【審議結果】

- ・原案のとおり令和7年度末で廃止として承認。

## 6. その他

## ●今後のスケジュール

- ・今回出された意見を反映した修正案を作成。
- ・2月18日から3月19日までパブリックコメントを実施。
- ・3月下旬に計画を完成させ、委員へ送付する（改めての協議会開催は予定せず）。

## 7. 閉 会